

CAMPUS NEWS

vol.120



CONTENTS

【SPECIAL FEATURE 特集】

夢をかなえた先輩たち
(内定者インタビュー)・(紹介)

【REGULAR CONTENTS】

地域×研究 (長野大学 研究紹介)

サークル紹介

上田駅前広場「真田幸村公の騎馬像」

上田駅のシンボルとして親しまれている、戦国武将・真田幸村公の騎馬像。幸村は、大坂夏の陣での果敢な戦いなどから「日本一の兵」と称され、2016年大河ドラマ「真田丸」ではその生き様が取り上げられた。銅像は1983年、上田城築城400年を記念して上田市出身の成沢定平氏より上田市へ寄贈された。



〈表紙の長大生〉

田中すみれさん 社会福祉学部3年
(長野県私立飯田女子高等学校出身)

生まれ育った飯田の地域福祉に貢献したいと、短期大学で介護福祉士の資格を取得しました。そこで福祉分野の奥深さに触れ、もっと視野を広げるため、今春長野大学へ編入学しました。社会福祉士の資格取得を目指しています。大学では要約筆記のボランティアサークルにも参加し、充実した毎日です。

田中 利来さん 企業情報学部3年
(長野県長野市立長野高等学校出身)

2年次からソフトウェア開発のゼミに所属し、3Dを使った「間違い探し」のゲームアプリを4人で制作しています。単なるアプリ開発ではなく、「新しいものを生み出す」「ゲームで社会に貢献する」を目標に取り組んでいます。4人の意見がまとまって同じ方向を向いた時、チームでつくる楽しさを感じます。就職活動でも自信を持って紹介できるクオリティの高い作品を完成させたいです。

長野大学キャンパスニュース

CAMPUS NEWS vol.120

発行：2021年11月
長野大学アドミッションセンター運営委員会

〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1
TEL：0268-39-0020
mail：kouhou@nagano.ac.jp
ホームページ：www.nagano.ac.jp



入試情報

一般選抜

試験区分	募集人員	願書受付期間 (消印有効)	試験日	試験科目・配点	試験会場
前期	社会福祉学部 45名 環境ツーリズム学部 32名 企業情報学部 32名	2022年 1/24 (月) ～ 2/4 (金)	個別学力 試験を 課さない	<p>大学入学共通テスト計4科目600点満点に業績点4点満点を加え、合計604点満点で判定</p> <p>●大学入学共通テスト</p> <p>【社会福祉学部】 ・「国語」(200点)必須 ・「外国語」(200点)必須 ・「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」の受験した科目の中から上位2科目(100点×2=200点)</p> <p>【環境ツーリズム学部】【企業情報学部】 受験した科目を100点満点換算し、上位4科目(100点×4=400点)を活用する。4科目の上位2科目をそれぞれ2倍して200点満点とし、残り2科目をそれぞれ100点満点とする。 ※国語と外国語は200点を100点に換算する。</p> <p>なお、同一教科の2科目でも有効とする。「理科」の「基礎」を付した科目については2科目で1選択とする。</p>	—
公立大学中期	社会福祉学部 30名 環境ツーリズム学部 25名 企業情報学部 25名	2022年 1/24 (月) ～ 2/4 (金)	3/8 (火)	<p>大学入学共通テスト4科目と個別学力試験2科目の合計点計6科目400点満点に調査書10点満点を加え、合計410点満点で判定</p> <p>●大学入学共通テスト</p> <p>受験した科目の中から上位4科目(50点×4=200点)。 なお、同一教科の2科目でも有効とする。「理科」の「基礎」を付した科目については2科目で1選択とする。 ※国語と外国語は200点を50点に、他の科目は100点を50点に換算する。</p> <p>●個別学力試験</p> <p>・「国語(国語総合)」必須 ・「英語(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ)」、「数学(I・A)」の2科目から1科目を選択 計2科目各100点 計200点</p>	本学 長岡 東京 福島 名古屋 富山

※大学入学共通テスト実施日：2022年1月15日(土)・16日(日) ※詳細については、学生募集要項でご確認ください。

2021(令和3)年8月

長野大学淡水生物学研究所開設

全国・アジア地域の内水面資源・淡水生物学の研究ネットワーク拠点を目指して研究を推進

長野大学淡水生物学研究所では、千曲川流域の自然を対象にした研究、国際・全国研究教育ネットワーク拠点としての役割、生物学の先端研究や増養殖技術振興の3つの活動を特色として研究を進めています。

現在の研究の柱として、信州大学や長野県水産試験場と連携し、千曲川を対象に「河川における生息地連続性の重要性—河川生態系への影響評価および保全方策：国土交通省」を進めています。また、全国35の大学等と連携する「水産資源調査・評価推進委託事業：水産庁」では、ニホンウナギ資源評価・管理のための調査、数理モデリング、統計解析、集団遺伝分析に関する研究を行っています。これら外部資金による大型研究プロジェクトは、いずれも当研究所の所長が研究代表・リーダーとして外部機関と研究グループを構成し、研究ネットワークのハブ機能を果たしています。

教育活動としては、当研究所の特徴を活かした講義・実習の2022年度開講を検討しています。

